会　議　等　結　果　報　告　書

会議区分	社会教育委員会議	文書番号	上富教社第６８２号
		決裁期日	令和６年１１月２８日
名　称	第３回社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議		
日　時	令和６年１１月２７日（水）　17：55～19：45		
場　所	上富良野町公民館　大ホール		
出席者	（委員）１２名（欠席：多田委員、福永委員、濱口委員） （事務局）鈴木教育長・髙松課長・村上主幹 佐藤根主査・松田主査・松田主任・永井主事・工藤主事・青野主事		

内　容

（進行：教育振興課長）

・会議案内通知文の送付方法の変更について（デジタル化とｘID の登録）

会議案内文の送付方法の変更に伴い、企画商工観光課 DX 推進班向山主幹より、ｘID について説明。登録の依頼を行った。

今後、会議案内文はｘID を用いて送付する。

１　教育長挨拶

≪質疑・仲島副委員長≫

教育長は会議に臨席される予定か。会議を進める上で退席されてはどうか

≪回答≫

協議事項については、臨席していないが、この場で退席する。

⇒教育長退席

２　社会教育委員長挨拶

３　議題　（進行:稲毛委員長）

（１）報告事項

①会議等出席報告について

・令和６年度上川管内社会教育委員基礎講座

9 月 11 日（水）旭川市　稲毛委員長、森委員出席

（森委員）基礎講座ということで参加したが、社会教育においてニーズの多様化が求められていることが理解できた。また講座で、パネリストが大学生だったこともあり、若い視点を得られることができた。

・第 46 回全国公民館研究集会北海道大会・第 68 回北海道公民館大会 in ひがしかぐら

10 月 17・18 日東神楽町　稲毛委員長、森委員、事務局出席

≪裏面に続く≫

	（稲毛委員長）１日目は講演会、２日目は分科会で有意義であった。 （森委員）今回、上富良野高校より、生徒会の生徒３名、引率１名で参加した。生徒たちは、当日かなり緊張していたが、しっかりと話せたと聞いている。（発表中は会議のため、参加出来ていなかったため）東神楽町の金谷教育長からも大変感謝された。 ・令和６年度上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員等合同研修会 10 月 22・23 日　美深町　稲毛委員長出席 （稲毛委員長）１日目は美深町のフロンティア・アドベンチャーという、１週間の体験イベントについて聞いてきた。２日目は分科会で有意義であった。 ②令和６年度社会教育関係事業の実施状況（実績及び計画） 議案資料のとおり報告 ③令和６年度社会教育施設等整備状況 議案資料のとおり報告 ④上富良野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の定数の見直しについて 議案資料１に基づいて令和７年度以降の社会教育委員の見直しについて、事務局より説明した。 ≪質疑・北向委員≫ ・定員の見直しについて、他の委員会も含めて全体の見直しから決定したのか ・ウェルビーイングの考え方から、職業の委員は重要と感じるため、１次産業・二次産業の委員は必要ではないか ・社会教育主事経験者の枠について、いらないと感じる ・教育委員会の裁量範囲であるが、12 名を定員として考えてはどうか ≪質疑・仲島副委員長≫ ・委員の定数について、なぜ減らすのかわからない ・認定こども園や社会福祉協議会など、役場に近い機関に委嘱しようしているが、社会教育委員であるから、他の分野からの知見が必要であると考える。 ・委員の選任について、在任期間や年齢制限は「努めるものとする」とあるので、強制力はないと考える。 ・全体を踏まえても、定数を見直す理由がわからない。 ≪回答≫ ・委員の推薦については、「認定子ども園」は家庭教育の推進から、「社会福祉協議会」については障害者の生涯学習の検討を図るためである。 ・内規については教育委員会にて決定できるものであるため、報告とさせていただいた。 ≪次ページへ続く≫

	≪仲島副委員長≫ ・仲島副委員長が子ども会育成協議会会長である間は子ども会育成協議会からの社会教育委員の推薦はしない。 ⇒退席された。（18時30分頃） ≪北向委員≫ ・選出母体は行政課題等で変わることはあるのか、その際毎回内規を変更するのか ・社会教育委員の会議にかけてから変更について決定するべきではないのか。順番が逆だったのではないのか ・在任期間や年齢制限については、「努めるもの」とすると書いてあるが、超えているものを推薦者として委嘱しているのは教育委員会なので、事務局の怠慢である。教育委員会に反省してもらいたい。 ・規程にある女性委員の登用について、積極的に努めることとするとあるため、意図的に女性登用をすすめるべきである。 ≪大西委員≫ ・数年前から何度か辞退をお願いしていたときに、あと1年、あと1年と引き止められてきたが、今回のような定数の変更によって、これまでの引き止めはなんだったのか、委員と過ごしてきた期間はなんだったのかと残念に思う。 ≪教委回答≫ ・来年度以降についてこのような形で行いたいと考えているため、委員皆様の意見をもとに、事務局で検討を行う （２）協議事項 ①令和６年度上富良野町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の開催について ・部会ごとに分かれて、第10次社会教育中期計画（令和６年度）の中間評価を行った。 ・初めに現時点での事業の報告を行い、その後事業の評価や課題、解決策について、ワークショップを行った。 ・第５回に向けて、第３回会議と第４回会議で意見出しを行う。 その他 （１）次回会議の日程 ・次回会議は１月下旬～２月上旬で検討。 ・決定次第連絡・案内する